

第 7 章 産業振興部

第 1 節 商工振興課

〔総括概要〕

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が進む中で、緩やかな回復基調が続いているが、設備投資や個人消費などの支出への波及は遅れが見られる状況である。

市内企業の現状については、平成 28 年度に市が行った中小企業を対象としたアンケート調査によれば、回答を得た約 1,300 社のうち 50% を超える企業が 5 年前と比較して経常利益が減少したと回答しており、引き続き厳しい状況にあることが明らかになっている。

こうした中、市としての中小企業支援については、基本理念等を明らかにした条例を制定した上で、施策全般の方向性を定めた指針を策定し、関係機関・団体等と連携して、総合的かつ計画的に施策を推進することとしている。

平成 28 年度は、前述のアンケート調査により実態を調査するとともに、事業者、商工団体、金融機関等により構成する栃木市中小企業・小規模企業振興会議を開催し、栃木市中小企業・小規模企業の振興に関する条例（案）を平成 29 年 6 月議会へ上程するための準備を行った。

中小企業支援に関する具体的な施策としては、市制度融資の利用促進を図るために、利率の引き下げや、県信用保証協会の保証料の全額補助を実施するとともに、産業財産権取得費用の一部補助などの経営支援事業を実施した。

また、平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害で被災した中小企業者の再建費用及び実行融資の利子の一部補助を実施し、早急な復旧を支援した。

工業振興に関する施策については、工場立地法に基づく届出に対し、緑地等面積を緩和する市条例に基づき、企業立地の促進と工場用地の効率的な活用を図った。また、陸砂利採石監視事業については、監視員による定期的な監視活動を実施し、事故防止や不法採取の未然防止に努めた。

労働に関する施策については、勤労者福祉施設の管理運営事業のほか、中小企業の勤労者への福利厚生の実施を目的とする勤労者福祉サービスセンターの管理運営の支援を実施した。また、関係機関等との共催により就職面接会や就活イベントを開催するとともに、介護による離職を防止するため、中小企業等に介護相談員派遣制度を創設し、市内企業の人材の確保に努めた。

商業金融係

1 商業の振興

(1) 第 39 回栃木市の産業と物産展

本市の産業の発展と物産の普及促進を目的として、本市の誇る生産品と物産品等を広く紹介する第 39 回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

- ・実施日 11月12日(土)、11月13日(日) (とちぎ秋まつりと同時開催)
- ・場 所 蔵の街第一駐車場
- ・出店数 37事業所

(2) 商工団体の育成及び助成

商工会議所、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会の諸事業に助成を行った。

- ・助成実施状況 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所運営事業費補助金	77,500,000	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
栃木市商店会連合会事業費補助金	5,550,000	1,500,000	商店街近代化対策の実施
未成年喫煙防止事業補助金	625,696	180,000	未成年者喫煙防止対策等への補助
青色申告推進事業補助金	3,200,000	30,000	青色申告制度の普及推進
合 計	86,875,696	7,710,000	

2 大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき県に提出された企業の届出に対し、地元説明会開催の承認及び出席、届出書の縦覧、庁内連絡会議の開催による市意見の集約等を実施した。

届出区分	件数(件)
法第5条第1項(新設に関する届出等)	1
法第6条第1項(変更の届出〔形式的変更〕)	4
法第6条第2項(変更の届出〔実質的変更〕)	—
法第8条第4項(市意見)	—

3 中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るため「商業の活性化」と「市街地の賑わい出し」等を柱とした各種施策を展開した。特に、市役所周辺の市中心部をより活気あるものにしようと、次の事業を推進及び支援した。

(1) 中心市街地活性化支援

栃木商工会議所が事業主体の中心商店街活性化や賑わいの創出のための各事業への支援を行った。

名 称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業 (栃木商工会議所運営事業費内)	1,500,000円	事業費助成

(2) 中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	場所
小江戸とちぎ人形まつり	5月4日(水)、5日(木)	山車会館前広場
県名発祥の地十千木縁日	6月11日(土)、12日(日)	山車会館前広場
蔵の街サマーフェスタ協賛 栃っ子茶屋	8月7日(日)	栃っ子広場
小江戸野州栃木 お蔵のお人形さん巡り	10月1日(土) ～10月30日(日)	中心市街地一円

栃木市の産業と物産展 (とちぎ秋まつり同時開催)	11月12日(土)、13日(日)	蔵の街第一駐車場
あそ雛まつり	2月18日(土) ～3月5日(日)	中心市街地一円

4 産業支援事業

地域経済の持続的な成長を図るため、新規産業支援事業補助金の運用を行った。

(1) 経営支援事業

経営の向上に取り組む中小企業者を支援するため、栃木県産業振興センターの専門
家派遣事業を活用した際に要する経費の一部を補助した。

- ・対象事業 栃木県産業振興センター「専門家派遣事業」の採択を受けた中小企業者
- ・補助内容 専門家の相談業務に要する経費のうち、企業が負担する経費の全額
(派遣1回につき1万6千円を年度内に4回まで)
- ・実績 1件

(2) 空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗で開業する際、店舗改装費、家賃
を補助し、開業及び中心商店街活性化のための支援を行った。

- ・対象事業 小売業、飲食業及びサービス業(風俗業及び遊戯業等は除く。)
- ・対象区域 栃木地域：蔵の街大通り沿い、銀座通り沿い、ミツワ通り沿い、嘉
右衛門町重要伝統的建造物群保存地区エリア、新栃木駅西
口県道新栃木停車場線沿い
大平地域：富田地区中心市街地商業振興会エリア
西方地域：金崎商店会エリア
- ・補助内容 店舗改装費の2分の1以内(限度額100万円)
開店後の家賃12か月分の2分の1以内(限度額50万円)
専門家相談費用の2分の1以内(1回の限度額1万6千円を5回まで)
- ・実績 新規開業：4件
前年度からの家賃継続：2件

5 制度融資

日本銀行のマイナス金利政策の導入等を踏まえ、7月1日(融資実行日ベース)から、
中小企業向け資金融資、中小企業創業資金融資及び中小企業緊急景気対策特別資金融資
の年利を一律0.1%引き下げた。

その影響もあり、制度全体を通しての実行件数は前年度と比較して増加した。

また、資金使途別に見ると、設備資金としての利用件数は減少したが、運転資金に関
しては、利用件数が増加している。

(1) 市制度融資の利用状況

ア 中小企業向け資金融資

設備の合理化・経営の安定等に必要な事業資金の融資をするため、栃木県信用保証協会を介し市内金融機関に23億3,200万円を預託し、その利用促進を図った。

(7) 中小企業設備合理化資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 10年以内（据置き6か月以内）
- ・年 利 5年以内 1.6 %
5年超~7年以内 1.9 %
7年超 2.1 %
(7月1日から一律0.1%引き下げ)

・融資状況

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
45件	275,040千円	58件	307,850千円	51件	412,650千円

(イ) 中小企業経営安定資金

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 7年以内（据置き6か月以内）
- ・年 利 3年以内 1.4 %
3年超~5年以内 1.6 %
5年超 1.8 %
(7月1日から一律0.1%引き下げ)

・融資状況

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
441件	2,599,000千円	394件	2,362,400千円	449件	2,502,600千円

(ウ) 小規模企業者資金

- ・融資限度額 1,250万円以内
- ・返済期間 5年以内（据置き6か月以内）
- ・年 利 3年以内 1.6 %
3年超 1.7 %
(7月1日から一律0.1%引き下げ)

・融資状況

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
34件	92,300千円	30件	109,200千円	45件	125,650千円

イ 中小企業創業資金融資

起業や事業転換等の促進のため、設備資金や運転資金への融資を目的として、栃木県信用保証協会を介し市内金融機関に4,500万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 500万円以内

- ・返済期間 5年以内（据置き6か月以内）
- ・年利 1.6%（7月1日から0.1%引き下げ）
- ・融資状況

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
6件	16,700千円	13件	24,300千円	3件	6,000千円

ウ 中小企業緊急景気対策特別資金融資

売上の減少や、取引金融機関の破綻等により、金融取引に支障を来している事業所を金融面から支援し、経営の安定を図るため、栃木県信用保証協会を介し市内金融機関に5,000万円を預託し、その利用促進を図った。

- ・融資限度額 売上の減少 1,000万円以内
破綻金融機関との取引 1,000万円以内
- ・返済期間 5年以内（1年超の場合に据置き6か月以内）
- ・年利 1年以内 1.4%
1年超～3年以内 1.6%
3年超 1.7%
（7月1日から一律0.1%引き下げ）

・融資状況

平成28年度		平成27年度		平成26年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
4件	33,500千円	3件	30,000千円	2件	20,000千円

エ まちづくり資金融資

歴史的町並み景観形成資金及び栃木駅周辺地区まちづくり資金の融資の取扱金融機関として足利銀行栃木支店、栃木信用金庫本店及び栃木銀行栃木支店を指定し、計1,000万円を預託した。

(ア) 歴史的町並み景観形成資金

蔵の街大通りや巴波川周辺地区において魅力的な街づくりを推進するための、歴史的建造物を生かした景観修復等に対する融資。

- ・融資限度額 3,000万円以内
- ・返済期間 15年以内
- ・年利 5年以内 2.2%
5年超～10年以内 2.4%
10年超 2.7%
- ・融資状況 融資実績なし

(イ) 栃木駅周辺地区まちづくり資金

市の玄関口にふさわしい魅力ある街づくりを推進するための、栃木駅周辺地区の景観形成に対する融資。

- ・融資限度額 3,000万円以内
- ・返済期間 15年以内

- ・年 利 5年以内 2.2 %
- 5年超～10年以内 2.4 %
- 10年超 2.7 %

- ・融 資 状 況 融資実績なし

オ 勤労者向け資金融資

(ア) 勤労者住宅資金

勤労者住宅資金の融資の取扱金融機関として中央労働金庫栃木支店に1,200万円を預託した。勤労者が文化的で安定した生活を確保するための、住宅建設や用地取得に必要な資金への融資。

- ・融資限度額 2,000万円以内
- ・返済期間 35年以内
- ・年 利 2.52 %
- ・融 資 状 況 融資実績なし

カ 中小企業向け資金融資信用保証料補助

市制度融資の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、その負担を軽減した。

区 分	平成 28 年度		平成 27 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設 備 合 理 化	45	6,317,457	58	7,901,008
経 営 安 定	443	50,490,878	395	40,574,038
小 規 模 企 業 者	34	2,198,717	30	1,667,786
緊 急 景 気	4	498,994	3	628,356
創 業	6	360,399	13	520,680
旧岩舟町制度に係る 返 戻 金	(4)	△32,807	(4)	△158,873
合 計	532	59,833,638	499	51,132,995

(2) 経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定状況

- ・中小企業信用保険法第2条第4項第1～8号 (単位：件)

保険法	適用事項	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
第 1 号	連鎖倒産防止	—	—	—
第 2 号	取引先企業のリストラ等の 事業活動の制限	—	—	—
第 3 号	突発的災害（事故等）	—	—	—
第 4 号	突発的災害（自然災害等）	1	8	—
第 5 号	業況の悪化している業種	22	17	22
第 6 号	取引金融機関の破綻	—	—	—
第 7 号	金融機関の経営の相当程度の 合理化に伴う金融取引の調整	—	—	—
第 8 号	金融機関の整理回収機構に 対する貸付債権の譲渡	—	—	—
合 計		23	25	22

(3) 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）制度利子補助金

株式会社日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金（マル経）融資」を利用した小規模事業者の借入れ当初の負担軽減と経営の安定化を図るため、平成 26 年度から当該融資に係る利子の一部を補助している。

- ・ 利子補給率（利子補給の割合） 返済利子の 2 分の 1
- ・ 返済期間のうちの支援年限 2 年間
- ・ 1 事業者当たりの利子補給金の上限額 8 万円
- ・ 利子補給の対象期間（融資実行日ベース） 平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月
- ・ 補助金交付実績

平成 28 年度		平成 27 年度		平成 26 年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
159 件	2,836,500 円	128 件	2,835,000 円	50 件	580,100 円

(4) 中小企業災害復旧支援（平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害）

ア 中小企業災害復旧支援事業の実施

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害による機械類や車両などの設備の修理や買換え費用の一部を補助するとともに、融資に係る利子の一部を補助し資金借入時の負担軽減や経営安定化の支援を図った。

(7) 中小企業再建支援補助金

- ・ 補助対象経費 事業用設備の再建費用（50 万円以上）
- ・ 補助対象者 豪雨等により被災した市内の中小企業者
- ・ 補助率 補助対象経費の 20%
- ・ 補助金額 1 申請者につき上限 100 万円、下限 10 万円
1 申請者につき 1 回の申請を有効とする。
1 万円未満の端数は切り捨てる。

・ 実施状況

平成 28 年度		平成 27 年度	
件数	金額	件数	金額
19 件	9,470 千円	19 件	9,370 千円

(イ) 中小企業災害復旧関連資金融資利子補助金

- ・ 補助対象額 災害復旧に係る資金融資の利子の総見込額
- ・ 補助対象者 豪雨等により被災した市内の中小企業者
- ・ 補助率 補助対象経費の 80%
- ・ 補助金額 1 申請者につき上限 100 万円
1 申請者につき 1 回の申請を有効とする。
千円未満の端数は切り捨てる。

・ 実施状況

平成 28 年度		平成 27 年度	
件数	金額	件数	金額
10 件	2,132 千円	17 件	7,550 千円

6 中小企業振興事業

人口減少、少子高齢化に伴う内需の縮小や経済活動のグローバル化に伴う環境の変化により、市内の中小企業・小規模企業が厳しい状況に置かれている現状を踏まえ、中小企業・小規模企業の振興に必要な施策を計画的かつ総合的に推進し、本市経済の発展及び市民生活の向上に寄与するため、栃木市中小企業・小規模企業振興の振興に関する条例の制定に向けて準備を行った。

(1) 栃木市中小企業・小規模企業振興会議の設置

条例の策定に当たり、広く意見を求めるため、栃木市中小企業・小規模企業振興会議を設置した。4回の会議を開催し、策定した条例案については、パブリックコメントを実施した。

(2) 事業者アンケートの実施

栃木市中小企業・小規模企業の振興に関する条例の策定における参考資料とするため、アンケート調査を実施した。

- ・期 間 11月7日（月）～11月25日（金）
- ・対 象 市内の中小企業・小規模企業
- ・回 答 数 1,354社

工業労働係

1 工業の振興

(1) 工場立地法に基づく業務

ア 工場立地法に基づく届出の受理

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合について審査・指導した。

なお、工場用地の効率的な活用及び企業立地の促進を図るため、国で公表した準則に代えて適用できる「栃木市工場立地法に基づく準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等の緩和を図っている。

- ・届出件数 (単位：件)

新 設	変 更	廃 止	承 継	名義変更	計
2	8	-	1	2	13

(2) 陸砂利採石監視事業

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、監視員を委嘱し定期的に監視活動を実施した。

- ・活動実績

区 分	箇所数（か所）	総認可面積（㎡）
砂利採取法に基づく認可地（砂利採取場）	3	12,278
砂利採取法に基づく認可地（洗浄施設）	3	24,042
採石法に基づく認可地	13	4,986,266

(3) 大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

ア 大光寺工業団地の概要

総面積：15.2ha、分譲完了：昭和63年9月

立地企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム(株)栃木事業所	名古屋市東区泉 1-23-22	大光寺町 3487-1	鉄骨系住宅
(株)ムトウユニパック栃木工場	江東区永代 1-7-12	大光寺町 1313-1	和・洋封筒
旭化学合成(株)栃木工場	板橋区小豆沢 1-12-15	大光寺町 3487-8	合成接着剤

イ 大光寺工業団地内施設維持管理業務

(ア) 除草業務

（公社）栃木市シルバー人材センターへの委託により工業団地進入路並びに調整池の草刈り及び除草剤散布を実施した。

- ・草刈り 8月
- ・除草剤散布 3月

(イ) 樹木剪定業務

業務委託により団地内調整池の樹木の剪定等を行った。

- ・中、高木剪定、枯損木伐採 12月

ウ 大光寺工業団地連絡協議会

団地内施設の適正な維持管理を図るため、市及び立地企業で組織する大光寺工業団地連絡協議会の活動として、定期的に清掃等を実施した。

- ・団地内道路、公園等敷地清掃
実施回数 12回（月1回）

(4) 栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業等で本会を設置している。

- ・講演会及び交流会

日時 12月16日(金)

場所 栃木グランドホテル

講演 「地域活性化に向けた信用金庫の取組みについて」

講師 田邊 光雄 氏

- ・会員企業

(単位：事業所)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
21	9	3	5	5	2	45

(5) 技能顕彰

技能の必要性・重要性の理解を深め、技能水準の向上及び技能者の社会的地位の向上を図り、職業に精進する気運を高めることを目的に、本市在住・在勤の受賞者等をホームページへの掲載により顕彰した。

- ・技能検定合格者

66人

2 産業振興支援事業

(1) 産業振興団体補助

商工関係諸団体の健全な育成と活動を支援し、産業の振興と活性化を図るため、県内産業支援団体へ負担金を支出した。

ア 栃木県産業振興センター負担金

県内産業の振興を目的として、高度技術の開発及び利用の促進、創業や新分野展開など新事業の創出促進、中小企業の経営革新等に関する諸事業を総合的に推進する機関として設置された栃木県産業振興センターへ負担金を支出した。

- ・本市負担金 10,500 円

イ ジェトロ栃木情報センター負担金

中小企業等の国際ビジネス展開の支援、日本企業の海外ビジネス展開支援など、日本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を行うジェトロ栃木情報センターへ負担金を支出した。

- ・本市負担金 200,000 円

(2) 新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組に補助金を交付。

- ・対象事業 市場における製品と比較し、新規性がある製品・技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
- ・補助内容 補助対象経費の2分の1に相当する額（限度額100万円）
- ・実績 -件

(3) 産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高め、本市における産業の活性化を図ることを目的に、産業財産権の取得費用に対する助成を行った。

- ・対象 産業財産権を取得した中小企業者
- ・対象となる産業財産権 特許権、実用新案権、意匠権、商標権
- ・補助、助成金の内容 特許等取得に対する助成
取得後6か月以内に申請
取得対象費用の2/3とする
(特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする)

- ・補助実績 (単位：件)

特許権	実用新案権	意匠権	商標権	合計
2	2	-	9	13

3 勤労者支援

(1) 中小企業介護相談員派遣事業

関係団体と連携を図り、介護離職を未然に防止し、勤労者の安定した生活の維持、及び中小企業等の経営の安定を図ることを目的に、「栃木市中小企業介護相談員派遣事業」を開始した。

- ・事業内容 事業主や勤労者が抱える介護に関する様々な課題に対し、必要な助言

及び相談等を行うため、豊富な実務経験を有する介護に関する相談員（社会福祉士、介護福祉士、ケアマネージャー等）を「介護相談員」として、無償で市内中小企業等に派遣する。

・事業開始 3月17日(金)

(2) 勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

ア 事業団体

- ・栃木市勤労者福祉サービスセンター（愛称 ウェルワークとちぎ）
- ・理事長 鈴木俊美
- ・所在地 入舟町 15-5
- ・会員数 事業所数 489 か所
従業員数 1,224 人

イ 会議関係

期 日	場 所	内 容
5月12日(木)	入舟庁舎	第1回サービスセンター担当主管課長会議
5月18日(水)	市役所	第1回サービスセンター理事会
8月23日(火)	入舟庁舎	サービスセンター実務担当者会議
2月20日(月)	入舟庁舎	第2回サービスセンター担当主管課長会議
3月8日(水)	市役所	第2回サービスセンター理事会

ウ 実施事業

(ア) 余暇活動事業

a スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期 日	内 容	場 所	参加人員(人)
6月18日(土)	プロ野球観戦とランチバイキング	東京ドーム	40
9月4日(日)	第12回理事長杯ゴルフコンペ	栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部	20
12月3日(土)	おたのしみバスツアー「東京ディズニーランドの一日」	東京ディズニーランド	44
その他市等の主催事業助成	第4回栃木市ウォーキング大会・第35回岩舟健康マラソン大会・第41回栃木市元旦マラソン大会		22
合 計			126

b 旅行等補助事業

(単位：件)

宿泊施設利用補助	149
提携ツアー利用補助	31

(イ) 余暇施設利用事業

(単位：人)

提 携 施 設 名	利用人数
東武ハッピーフリーパス（東武動物公園）	523
那須ハイランドパーク	627

東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	1,005
シネマロブレ5（映画館）	2,078
小山温泉「思川」	213
エーデルワイススキーリゾート	13
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	193
アグリノ郷（いちご狩り）	55
栃木市総合運動公園プール	257
宇都宮動物園	122
那須どうぶつ王国	107
東京サマーランド	4
スパリゾートハワイアンズ	100
国営ひたち海浜公園プレジャーガーデン	26
合 計	5,323

(ウ) 在職中の生活安定事業

慶弔給付金 （単位：件）

給付項目	件 数
結 婚 祝 金	6
出 産 祝 金	14
銀 婚 祝 金	7
入 学 祝 金	75
傷 病 休 業 保 険 金	11
疾 病 死 亡 等 保 険 金	3
不慮の事故死亡等保険金	—
死 亡 弔 慰 金	22
合 計	138

(エ) 文化教養健康事業

a 自己啓発事業

（単位：人）

期 日	内 容	場 所	参加人数
12月10日（土）	フラワーアレンジメントとガーデニング教室	入舟庁舎	15
2月25日（土）	ビーズアクセサリー教室	入舟庁舎	9
通 年	NHK 学園生涯学習通信講座		1
通 年	各種チケットのあっせん	栃木市栃木文化会館等	97
通 年	市等文化教養健康事業助成	栃木市民大学等	9
合 計			131

b 健康の維持増進事業

（単位：人）

事業名	人数
人間ドック・脳ドック助成事業	32
インフルエンザ予防接種受診助成事業	130

(オ) 広報宣伝活動（PR活動）

会報誌「ウェルワークとちぎ」（年6回発行）を発送

「ウェルワークとちぎガイドブック 2016・17」（隔年発行）を発送

(カ) 会員勧誘活動

本庁及び各総合支所商工担当課窓口にのぼり旗及び案内板を掲示し、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図るとともに、会報誌に新会員の紹介キャンペーンを告知し、新会員の加入を図った。

また、市内工業団地協同組合内会議において、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図った。

更に、市域コミュニティFMくらら 857 番組内にて「ウェルワークとちぎ」の紹介・勧誘を図った。

(キ) その他

会員の誕生月に「バースデープレゼント」、満20歳の会員に「はたちのプレゼント」、入学祝金の給付に合わせて「入学祝品」を、出産祝金の給付に合わせて「出産祝品」を、金婚・珊瑚婚祝を申請した会員に「金婚・珊瑚婚祝品」を贈呈した。

(3) 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名	称	補助額(円)
第 87 回栃木県メーデー下都賀地区大会	補助金	50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内 訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	30,000
	家族ふれあい行事	40,000
	列島クリーン作戦	10,000
	新春の集い	30,000

(4) 就業安定対策

ア 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(ア) 求人情報の提供

ハローワークとちぎ求人情報の配布（通年）

(イ) 会議及び啓発事業

実施日	内 容
7月11日(月)	第1回栃木市就業安定対策協議会開催
11月24日(木)	人権啓発リーフレットを送付（市内企業389社）
12月8日(木)	人権啓発活動参加

12月10日(土)	「人権を考える市民の集い2016」へ協賛 参加者へ啓発資料を配布
2月8日(水)	事業所等関係者人権啓発研修会開催

イ 企業説明会等の開催

市内事業所における人材の確保と、地元での就職を希望する新規学卒者及び若年者への支援として、関係機関との連携により企業説明会等を開催した。

実施日	内 容	会 場
6月6日(月)	栃木市・壬生町大卒等企業説明会 ハローワーク栃木・壬生町と共催 対象者：H29大学等新卒予定者及び卒業後3年以内の未就職者 参加企業：30社 参加学生等：82人	サンプラザ
2月24日(金)	「就活Fes' 17 in蔵の街とちぎ」 ～学生×地元企業交流会～ 栃木ケーブルテレビ、栃木市商工経済団体連絡協議会と共催 対象者：H30大学等新卒予定者 参加企業：18社 参加学生等：55人	サンプラザ

(5) 職業訓練支援

技能労働者の養成、確保及び技能水準の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法の規定に基づき栃木県知事の認可を受けて設置されている共同高等産業技術学校に対し補助を行うことにより学校の運営を支援した。

交付先	所在地	金額等
栃木共同高等産業技術学校	栃木市日ノ出町16番6号 (栃木市技能センター内)	固定額500,000円+(40,000円×市内生徒数9人)=860,000円
鹿沼共同高等産業技術学校	鹿沼市上石川1465番地4 (鹿沼市職業訓練センター内)	定額 100,000円

4 勤労者福祉施設の管理、運営

(1) 勤労者総合福祉センター管理運営事業

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に委託し、各種講座を開講した。

ア 利用状況

使用区分	1階会議室	2階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	屋外イベント	合 計
件数(件)	392	238	135	932	178	198	365	12	2,450
人数(人)	4,463	5,570	1,507	26,373	1,847	2,054	1,562	419	43,795

イ 講座、イベント等の状況

(ア) 自主講座

講座名	第1期(各10回)		第2期(各10回)		第3期(各9回)		平均年齢 (歳)	合計 (人)
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)		
生活に生かす書	5月9日 ～7月11日	210	8月22日 ～11月7日	247	12月26日 ～3月6日	204	68	661
健康体操	5月9日 ～7月11日	409	8月29日 ～11月14日	419	12月26日 ～3月6日	401	68	1,229
筋力アップ	5月9日 ～7月11日	544	8月29日 ～11月14日	535	12月26日 ～3月6日	458	62	1,537
押花アート	5月9日 ～7月11日	140	8月29日 ～11月14日	124	12月26日 ～3月6日	104	62	368
エアロビクス	5月11日 ～7月13日	309	9月7日 ～11月9日	321	1月11日 ～3月8日	246	58	876
リズム体操	5月12日 ～7月14日	524	8月25日 ～11月10日	589	1月12日 ～3月9日	502	71	1,615
社交ダンス	5月12日 ～7月14日	231	8月25日 ～11月10日	194	1月12日 ～3月9日	161	68	586
イキイキ☆フィットネス	5月13日 ～7月22日	375	9月9日 ～11月18日	372	1月6日 ～3月3日	341	65	1,088
合 計		2,742		2,801		2,417	65	7,960

(イ) 単発講座、イベント

名 称	開催日	参加者(人)	名 称	開催日	参加者(人)
ふれあいパーティー	5月29日(日)	37	単身体力測定	12月8日(木)	14
ふれあいパーティー	7月3日(日)	17	ふれあいパーティー	12月18日(日)	28
健康生活整体道場講座	7月21日(木)	18	悪質商法から身を守ろう!	1月19日(木)	6
肩こり・足ツボ改善講座	7月30日(土)	15	ふれあいパーティー	2月5日(日)	20
楽しく作ろう!おりがみ講座	8月7日(日)	11	モテメイクレッスン	2月12日(日)	7
消防訓練	9月2日(金)	36	廃油でろうそくを作ろう	2月16日(木)	7
ふれあいパーティー	9月25日(日)	19	普通救命講習会	2月22日(水)	18
ふれあいパーティー	10月22日(土)	23	勤総フェスティバル	3月12日(日)	1922
ニコニコ親子ヨガ	10月22日(土)	16	消防訓練	3月22日(水)	57
親子で作る竹細工	11月12日(土)	8			

(2) 勤労青少年ホームの管理運営事業

勤労青少年の福祉の向上と健全な育成を図るため、栃木及び大平勤労青少年ホームの管理運営事業を環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、各種講座の開講やクラブ・サークル活動を支援した。

ア 栃木勤労青少年ホーム利用状況

(ア) 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	291
ホーム利用者数	18,111

(イ) 年齢層別登録者数

(単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	1	7	22	7	56	93
女	2	8	22	53	113	198
合計	3	15	44	60	169	291

(ウ) 年齢層別利用状況

(単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	67	331	2,769	79	3,786	7,032
女	46	389	2,807	2,356	5,481	11,079
合計	113	720	5,576	2,435	9,267	18,111

(エ) 月別利用状況

(単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,470	1,619	1,735	1,347	1,003	1,542	1,881	1,583	1,334	1,442	1,588	1,567	18,111

(オ) 曜日別利用状況

(単位：人)

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	合計
1,233	3,137	2,274	3,115	4,279	2,080	1,993	18,111

イ 栃木勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
中級英会話	15	24	217	月
筆ペン習字	20	6	76	月
スタイリッシュヨガ	20	26	604	火
バドミントン	20	16	103	火
家庭料理	12	3	24	火
やさしいペン字	20	6	114	火
フラワーアレンジメント	15	3	9	火・金
シチ・クレイプ料理	12	1	4	火
手ごねパン作り	6	3	14	火
エアロビクス	20	26	407	水
ソフトバレーボール	20	24	334	水
バラエティークッキング	12	6	24	水
足つぼ&セルフマッサージ	15	18	184	水・金
ライフプランセミナー	15	1	13	水
ZUMBAフィットネス	25	29	775	木
ピラティス	25	16	565	木
硬式テニス	15	20	161	木
ベリーダンス	20	29	242	金
花咲く書道	15	1	4	金

写真	10	2	10	金
フラダンス	20	30	597	土
話し方講座	20	3	21	土
紅茶講座	15	2	13	土
ヒップホップダンス	10	2	8	土
そば打ち講座	10	1	5	日
サリヤンカ料理	12	1	8	日
合 計		299	4,536	

(イ) スポット講座

講 座 名	定員(人)	実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催日
若者で作るクリスマスケーキ作り講座	18	1	6	12月18日(日)

(ウ) 自立・就職相談事業

- ・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言
- ・実施回数 162回
- ・相談者数 8人
- ・延べ相談者数 186人

(エ) ホーム行事(利用者会事業)等

行 事 概 要	実施日	参加者数(人)	会 場
栃木勤労青少年ホーム主催 第1回ドッジボール大会	9月25日(日)	42	勤労者体育センター
利用者発表会	10月8日(土)	116	市民会館
ウイングとちぎクリスマス会	12月17日(土)	58	青少年ホーム体育室

(オ) 他ホームとの交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	会 場
大平勤労青少年ホーム 利用者発表会	8月6日(土)	22	大平勤労青少年ホーム
県ホームスポーツ交流会	11月13日(日)	5	小山市勤労青少年ホーム

(カ) クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
バレーボール遊人会	月	51	994
ベリーダンス	月	59	598
英語クラブ	月	9	54
スポーツパラダイス	水	51	765
とちぎユースネット	木	49	965
J C バンド	木	48	576
H N K	金	71	350
S S O	土	93	931

ういすてりあ	日	44	1,056
南インド古典舞踊と即興ダンス	不定期	203	609
江戸料理研究会	不定期	1	5
合 計		679	6,903

(キ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会 場
出流山ハイキング	10月16日(日)	男性3人 女性2人	出流山
若者で作るクリスマスケーキ作り	12月18日(日)	男性2人 女性4人	青少年ホーム調理室及び1F教室

ウ 大平勤労青少年ホーム利用状況

(ア) 概要 (単位：人)

ホーム登録者数	352
ホーム利用者数	6,021

(イ) 年齢層別登録者数 (単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	—	4	3	10	55	72
女	3	6	28	46	197	280
合計	3	10	31	56	252	352

(ウ) 年齢層別利用状況 (単位：人)

区 分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	110	9	34	173	1,124	1,450
女	99	66	354	576	3,476	4,571
合計	209	75	388	749	4,600	6,021

(エ) 月別利用状況 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
805	613	608	522	299	249	778	676	537	444	258	232	6,021

(オ) 曜日別利用状況 (単位：人)

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	合計
331	1,613	768	1,346	406	719	838	6,021

エ 大平勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ア) 定期講座

講 座 名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
ズンバ	25	32	787	月
書道	15	32	399	月
ボディメイクヨガ	25	31	427	火
ゴルフ	20	24	184	火
テニス	20	27	335	水

着付	15	19	80	水
ヒーリングヨガ	25	31	345	水
英会話	15	24	115	木
骨盤美容整体	20	34	269	木
料理	15	30	281	金
華道	15	15	49	金
ゴスペル	20	16	72	金
エアロビクス	25	11	177	金
ハタヨガリラックス	25	31	558	土
合 計		357	4,078	

(イ) 自立・就職相談事業

- ・内 容 日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言
- ・実施回数 40回
- ・相談者数 6人
- ・延べ相談者数 75人

(ウ) ホーム行事（利用者会事業）等

行 事 概 要	実施日	参加者数(人)	会 場
おおひら桜まつり参加	4月 2日(土)	11	大平運動公園
青团連クリーンアップ大作戦 2016	6月 26日(日)	40	かかしの里
なつこい参加（模擬店出店）	7月 23日(土)	27	大平運動公園
大平青少年ホーム利用者発表会	8月 6日(土)	42	大平勤労青少年ホーム
利用者会バスツアー	10月 16日(日)	51	山梨方面
大平町文化祭参加（作品展示）	10月 29日(土)	31	大平公民館
ホーム祭	1月 22日(日)	50	大平勤労青少年ホーム

(エ) 他ホームとの交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)	会 場
栃木勤労青少年ホーム スポーツ交流会	9月25日(日)	15	栃木市勤労者体育センター
県ホームスポーツ交流会	11月13日(日)	22	小山市勤労青少年ホーム
小山ホームクリスマス会	12月 4日(日)	5	小山市勤労青少年ホーム

(オ) クラブ活動

ク ラ ブ 名	活動曜日	活動回数(回)	活動延べ人数(人)
ターピンクラブ	水	52	364
ハッピータイムクラブ	不定期	19	106
キャンドルヨガ	不定期	5	96
ズンバクラブ	月	13	128
書道クラブ	月	8	99

料理クラブ	金	11	39
テニスクラブ	水	24	177
かりゆし会 (三線)	火	16	70
拳法クラブ	金	2	4
合 計		150	1,083

(カ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会 場
パスタと紅茶&ふわとろパンケーキで語りませんか	11月19日(土)	男性5人 女性5人	大平勤労青少年ホーム

(3) 勤労者体育センター管理運営事業

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、効率的な管理運営を実施した。

ア 利用状況

(7) 利用者数 (単位：人)

市内居住者	35,507
市外居住者	334
合 計	35,841

(イ) 月別利用状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内	3,083	3,156	3,184	3,226	2,224	3,062	3,123	3,074	2,830	2,609	2,902	3,034
市外	14	40	6	36	14	6	9	32	17	34	13	113
合計	3,097	3,196	3,190	3,262	2,238	3,068	3,132	3,106	2,847	2,643	2,915	3,147

(ウ) 曜日別利用状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
利用者数	3,925	4,732	7,738	4,676	4,448	4,749	5,573

(エ) 種目別利用状況 (団体利用のみ)

(単位：人)

種 目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓 球	リズム体操	その他
利用者数	4,992	1,029	5,611	15,351	4,200	2,009

イ 利用者交流イベント等

行 事 概 要	実施日	参加人数(人)
第1回栃木&大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	9月25日(日)	42
第6回ソフトバレーボール大会	12月18日(日)	85

(4) 働く婦人の家活動状況

働く女性及び勤労家庭婦人の福祉の向上を図るため、女性団体の活動の場の提供や自主グループ活動を支援し、適切な管理運営を実施した。

ア 活動の概要

活動内容	参加者(人)	構成比率(%)
自主グループ	6,024	98.6
その他	83	1.4
合計	6,107	100.0

イ 活動区分

区 分	参加者(人)	構成比率(%)
働く女性	1,526	25.0
勤労家庭婦人	4,581	75.0
合計	6,107	100.0

ウ 月別活動状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	569	586	530	535	144	516	572	553	518	534	532	518

エ 曜日別活動状況

(単位：人)

曜 日	日 曜	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜	土 曜
人 数	—	357	3,885	41	347	1,166	311

オ 年齢別活動状況

(単位：人)

年齢	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
人数	165	122	226	1,252	4,342

カ 自主グループ等

区 分	回数(回)	延べ参加人数(人)	備 考
書 道	48	242	2グループ°
太 極 拳	3	44	
ヨ ー ガ	44	286	
卓 球 (ラ ー ジ)	129	1,204	3グループ°
押 し 花	22	68	
茶 道	56	318	2グループ°
リ ズ ム 体 操	43	3,862	
合計	345	6,024	

キ その他

区 分	回数(回)	延べ人数(人)	備 考
団 体 利 用	7	83	女性団体利用等
合計	7	83	